親も子も地域で育つ

5 エピソード 地域とのかかわり

小学５年生の知樹くんのお母さんは今年度、児童会の役員がまわってきています。夏休みには家族旅行をする予定が決まっていましたが、その前日が納涼祭に決まり、お母さんは、旅行の準備もあるのにと、ちょっと児童会の手伝いが「面倒だな」という気持ちになっています。知樹くんの家族の夕食時の会話です。

母　「今年は町内の児童クラブの役員だから納涼祭に出なくちゃいけないのよ。母さんは輪投げの係なの。お世話大変だわ～。家族旅行の前日よ！」
知樹　「ぼくは納涼祭楽しみだなぁ！」
父　「町内の人たちで集まるのも納涼祭ぐらいだからな～。近所に住んでいてもなかなか話をすることもないし、母さんが世話係ならみんなで参加しよう！」
母　「まあね、いつもは出たことないものね。夏休みはいろいろ忙しいからね」
知樹　「ぼく、もう、となりの健ちゃんと一緒に行く約束したんだよ」
母　「うちは私も仕事しているし、休みの日は家の事もたまっているから、なかなか町内のお手伝いできないけど、今回は役員だから仕方ないわね」
父　「そういえば、山田のおじいちゃん、今朝、腕章をして横断歩道に立っていたよ」
知樹　「そうだよ。毎朝いるし、帰りも見かけるよ。見守り隊なんだって」
母　「ボランティアで毎日地域の子どもたちのためにありがたいわねぇ。何年かに一度の役員でも大変なのにね」
知樹　「お父さんも休みの日ぐらいは見守り隊になったら？」
父　「・・・　」

グループワーク 各自が書いた後、話し合ってみましょう。

1 お父さんは最後になんと言ったでしょうか。「・・・」のところを考えてみましょう。

「　　」

2 お父さんの出番って、どんな時でしょう？例を挙げて考えてみましょう。

3 あなたのお子さんが、家族での行動よりも、友達同士のイベントを優先したがったのはいつ頃でしたか？

4 地域の町内会等の役員がまわってきたとき、どのような思いですか？

ア　何もしたくない　　イ　仕方ないので最小限の協力をする
ウ　まわってきたからには頑張る　　エ　積極的に活動する
オ　その他（　　）

5 地域の活動に関わってこれまでに良かったと思うことはありますか。それはどんなことですか？

親を学び伝える学習プログラム
富山県教育委員会　生涯学習・文化財室
平成20年3月発行　平成24年2月増刷
〒930-8501 富山市新総曲輪１番７号　電話 076(444)3435